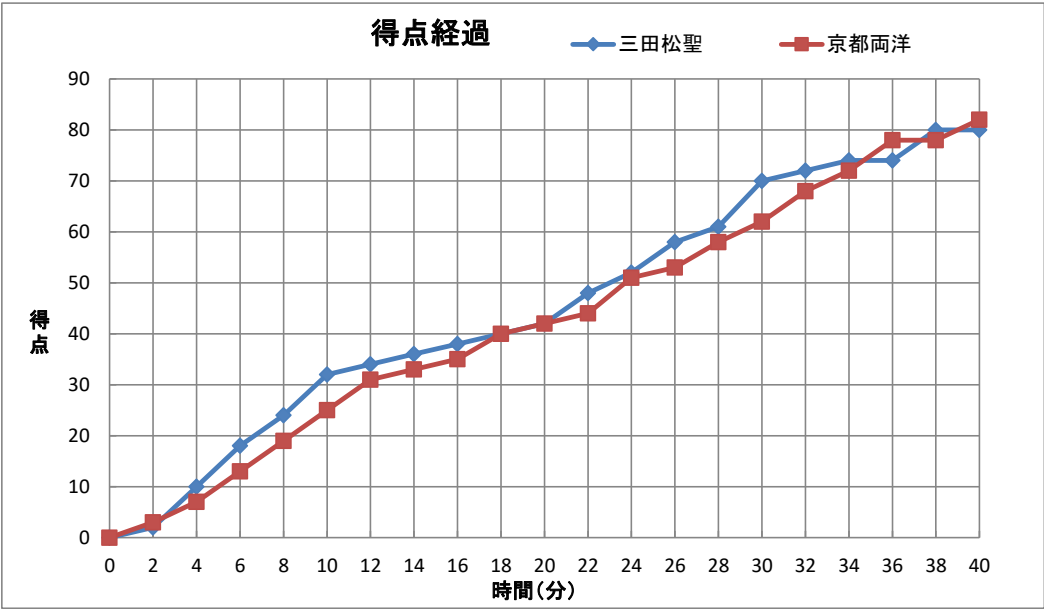




第35回近畿高等学校バスケットボール新人大会

個人トータル表

女 子		令和7年2月15日				15:50 開始							
2 回戦		和歌山ビックホエール				D							
三田松聖		80	321st25 102nd17 283rd20 104th20				82	◎ 京都両洋 (京都)					
(兵庫)													
番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則	番号	氏 名	得点	3P	2P	FT	反則
6	梅川 すずの	8	0	3	2	0	4	片山 志歩	-	-	-	-	-
* 11	花房 結菜	6	2	0	0	0	5	高原 綾乙	-	-	-	-	-
14	黒田 希歩	-	-	-	-	-	11	堀 優夏	0	0	0	0	1
18	阿部 祐月	-	-	-	-	-	12	松下 ミレナ	-	-	-	-	-
* 24	井村 真依	8	0	4	0	3	* 14	ピクトリア ウビ オノイ	39	0	19	1	3
32	河合 杏実	-	-	-	-	-	* 17	大西 凜子	9	1	3	0	0
39	大西 葵	0	0	0	0	0	25	田中 佳音	-	-	-	-	-
* 47	四谷 花音	10	1	3	1	3	* 26	藤田 瑞木	16	2	3	4	2
55	中村 その	-	-	-	-	-	* 30	古川 光鈴	7	0	2	3	4
* 79	木下 楓	30	2	10	4	2	32	中村 璃音	-	-	-	-	-
* 88	小田 歩羽彩	18	0	6	6	4	33	近藤 貴子	-	-	-	-	-
0							55	吉田 萌心	0	0	0	0	1
0							70	柴田 絢夏	-	-	-	-	-
0							83	稲葉 明花	7	0	2	3	3
0							* 88	竹口 桜礼	4	0	1	2	0
コーチ	初谷 洋志						コーチ	吉田 聡					
Aコーチ	有川 亨						Aコーチ	甲良 泰明					
合 計		80	5	26	13	12	合 計		82	3	30	13	14
クルーチーフ: 小 出 聡 子													
1st アンパイア: 伊 達 桃 子							2nd アンパイア: 渡 辺 孝 弘						



TO	1・2Q		3・4Q			OT1	OT2	OT3	OT4
TeamA	14:02	:	32:31	35:38	39:59	:	:	:	:
TeamB	:	:	39:45	:	:	:	:	:	:

〔戦 評〕

〔第1Q〕

準決勝進出をかけた試合は三田松聖#11#24#47#79#88、京都両洋#14#17#26#30#88でスタート。両チームハーフコートマンツーマンでゲーム開始。三田松聖は#79を中心に3Pシュート、アウトサイドからの力強いドライブで得点する。京都両洋は徹底して#14にボールを集め、ポストプレイで得点していく。32対25で、三田松聖7点リードで第2Qへ。

〔第2Q〕

京都両洋は#26のドライブからの連続得点、またハイロープレイで点差を縮めていく。残り5分58秒、三田松聖たまらずタイムアウト。タイムアウト後、京都両洋は、オールコートマンツーマンに変え相手のリズムを崩しにかかる。三田松聖は第1Qに続きディフェンスからの速い展開、#88のスピードあるドライブでペイントアタックしていくが思うようにシュートを決めることができない。42対42、同点で第2Q終了。

〔第3Q〕

前半に続き、京都両洋#14のポストプレイに対し、三田松聖はダブルチームで対応するが高さある攻撃を中々止めることができない。しかし#79#88の1on1、また激しく粘り強いディフェンスからのスティールなどで着々と得点し対抗する。終了間際にも#79が3Pシュートを決め勢いに乗る。70対62三田松聖リードで第3Qを終える。

〔第4Q〕

京都両洋が速攻からの攻撃、#14の1on1で第4Q出だしの流れを掴み点差をつめる。残り7分29秒、72対70、2点差に詰められた所で三田松聖タイムアウト。互いに譲らぬ戦いは、残り15秒で80対80の同点。京都両洋がタイムアウト後、#30のドライブからのシュートが決まり、試合を決めた。80対82で試合終了。京都両洋が準決勝進出を決めた。

戦評: 庄田 光敬 記録: 和歌山商業